

令和7年度秋のまちづくり懇談会内容

日 時： 令和7年10月29日(水)13:30～

場 所： 御園公民館

出席者： 12人

1開会

2町長挨拶

3懇 談

- (1) 栗山町第7次総合計画～後期実施計画策定に向けて～資料①
- (2) 主要施策の取組状況について 資料②
- (3) 自由懇談

4その他 別添資料

- ・くりやま暮らし応援電子商品券のご案内等・・・商工観光課より
- ・緊急告知FMラジオの企業・事業所配付について・・・総務課長より
- ・町営バス時刻表（説明なし）
- ・基盤整備状況及び地域開発構想図

5閉会

【自由懇談・そのほかの質疑など】

■クマ出没の注意情報の発信について

町 民	熊の出没が全国的に問題になっている。役場に熊の出没情報が入った際にどのように情報発信しているのか。年配の方が気にしている。
町 長	熊が出没した時や痕跡があった時は、町の農林課の職員が状況に応じてハンターと一緒に現地に行き、地域の自治会長さんも含めて周知を行う。そして、熊がいても山に返すということを基本に駆除対策を講じている。エフエムくりやまも熊の出没に関して放送している。色々な意見が出されているので、スマートフォンなどを活用して、情報を伝える手段を町で構築することについてもしっかり対応していかなければならないと思っている。

■道路などの補修の要望について

町 民	道路などの補修の要望のとりまとめが建設課から来ているが、出しても予算の関係もあって見送られることが多い。今年も9月にとんでもない雨が降って河川もかなりえぐられているし、大型トラックが入って舗装もかなり痛んでいる。今後はもっとお金がかかることになっていくので、そういうことも踏まえて検討してもらいたい。
町 長	要望に応えられず大変申し訳なく思う。自治会、町内会の皆さんから取りまとめた全て対応できていないのが実態。一昨年から、かなり修繕関係の予算を増やしたもの、なかなか追いついていない。また新たな箇所でやらなければならぬものが積み重なってしまうと悪循環になるので、予算をつけて、そして大雨などで必要になった場合には翌年度に回すということではなくて、年度途中でも補正予算で対応しかなければいけないと思っている。

■地域おこし協力隊について

町 民	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊は毎年何人か入ってくるのか。また、栗山町に来たいという人を採用してから、何をするか決めていくような流れなのか。 ・地域おこし協力隊を卒業してから栗山に残ってくれた人、転出してしまった人を把握しているのか。 ・地域や分野が違うと目に触れる機会が少ないので、いろんなところで発表してもらって、教えてもらえる状況があれば、もっといいかなと思う。
町 長	他の町では、とにかく町に来て、町おこしで好きなことをやってもらいたい、そういう募集をしているところもある。例えば、くりふとでDIY工房を将来作る、そういうことを想定して、専門の方を協力隊として募集するとか。栗山では、協力隊にミッションを決めてもらうような応募がほとんどやっていないが、今後は、そういうやり方が主流になってくるのかなと思う。
企画財政課 主幹	平成27年度から採用を始め、今年度の任務も含めて45人が活動してきた。このうち任期終了時点で本町に残った隊員は、6割から7割の間ぐらい。そして10年間経つと、どうしても都合によって栗山を離れる方もいる。それも含めると、1割ぐらい減り、6割前後。全国では、5割ぐらいまで減っており全国と比較すると本町の割合が高い。この事業は地域に定住定着させることが重要なので、定住率が上げられる方法を検証している。

■除雪について

町 民	雪が多い時は、除雪が一回だけだと外出できない時があるので何とかならないか。
町 長	12月に除雪体制が出来上がるのに、そういったご意見があったということを伝えた。日中でも緊急的に出動することはあるが、雪の降るタイミングや次に出動するまでの時間的な関係もあり十分な体制は取れていなかった。できる限り対応はしていきたい。

■ネイポジポカードについて

町 民	2,000円分のポイントが付与されるが、例えば、食事に行って数人分のカードをお店に出し、ポイントを合算して支払うようなことはできるのか。
商工観光課長	大丈夫だとは思うが、お店によっては断られる場合も想定される。

■国勢調査の人口について

町 民	今年は国勢調査の年だが、国勢調査よりも住民基本台帳の数値の方が正確だと思っている。調査に答えていない人もたくさんいると思っている。
町 長	国勢調査は、住民票がなくても過去三か月継続して栗山に住んでいる人も入れられる。例えば、栗山赤十字病院の建て替え工事で働きに来ている工事現場の人で住民票が東京にあるような人たちも、10月1日時点、栗山にいる場合は、人口としてカウントすることができる。おそらく、住民票の数よりも国勢調査の方が多くなるのではないかと思っている。人口1人あたり100万円ぐらい入ることになる。
企画財政課	例えば、学生で住民登録は栗山町にあっても札幌市に住んでいるケースもあり、国勢調査では、住民登録にある情報が本町の人口だとは一概にいえない。